

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 15 日現在

機関番号：12701

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25285228

研究課題名(和文) 中等段階の職業・専門教育と高等段階の専門教育の連携に関する国際比較研究

研究課題名(英文) International Comparative Study on the Cooperation between Vocational and Technical Education of Secondary Level and Technical Education of Higher Education

研究代表者

横尾 恒隆 (Yokoo, Tsunetaka)

横浜国立大学・教育人間科学部・教授

研究者番号：30220544

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 9,600,000円

研究成果の概要(和文)：本科学研究では、中等段階の職業・専門教育と高等段階の専門教育との連携に関する国際比較研究を行った。その結果アメリカ、フランスでは、両者の連携に関するプログラムが進展していることが指摘される。前者では、テック・プレップがカリキュラム上の基準が明確にした学習プログラムに変えられた。4年制大学工学系学部への進学準備教育を意図したハイ・スクールの工学予備教育プログラムも発展している。フランスでは、リセ(高校)で工学系のグランゼコール進学準備教育のための工学準備教育が発展しつつある。一方日本やドイツでは中等後の職業教育機関と中等段階の職業教育・専門教育と連携したプログラムは、まだ発展していない。

研究成果の概要(英文)：This study aimed the international comparative studies on the cooperation of secondary vocational and technical education and technical education of post-secondary and higher education level. This study shows that the United States and France are developing such programs. In the United States, tech prep programs, connecting secondary vocational and technical education and post-secondary technical education, are replaced by the "Program of Studies" with rigidity of standards. This country also has pre-engineering programs for preparation for 4-year university programs. In France, engineering programs of lycee, the aim of which are the preparation for engineering programs of "grands ecoles". On the other hand, in Germany and Japan, the programs similar to ones above mentioned are rare. We need to consider the necessity of the programs of programs connecting secondary vocational and technical education and technical and professional education of post-secondary and higher education level.

研究分野：技術・職業教育

キーワード：専門教育 職業教育 中等段階 高等段階 国際比較研究

1. 研究開始当初の背景

我が国では、現在「高大連携」の必要性が提起され、また様々な形で実施されている、しかしそれは高等学校普通科を主たる対象としており、専門学科(専門高校)との連携は一部を除きほとんどみられない。これに対し欧米諸国では、従来からの中等段階の職業・専門教育と短期(2年程度)の中等後・高等教育機関における専門教育の連携を図るプログラムに加え、1990年代以降、長期の高等教育の専門教育の連携を図るそれも広がっている。こうしたことから中東段階の職業教育・専門教育と高等段階の専門教育を連携させたプログラムに関する国際比較研究が必要だと考えられる。

2. 研究の目的

本研究では、欧米諸国との比較研究を通して、我が国に相応しい中等段階の職業教育・専門教育と高等段階の専門教育の連携のモデルの解明、その受容に必要な条件整備の検討等を行うことを目的とした。

3. 研究の方法

研究では、欧米諸国における上記の連携の必要性をめぐる議論やカリキュラム編成の基本的方針や実態に関するデータを収集し、日本の「高大連携」のものと比較することを通して上記の研究目的の達成を目指した。

4. 研究成果

本科学研究では、中等段階の職業・専門教育と高等段階の専門教育との連携に関する国際比較研究を行った。その結果、アメリカ、フランスでは、両者の連携に関するプログラムが進展していることが明らかになった。前者では、ハイ・スクールとコミュニティ・カレッジの専門教育の連携を目指したプログラムに関して、テック・プレップよりも、カリキュラム上の基準が明確にした学習プログラムに変えられた。

また近年では、4年制大学工学系学部への進学準備教育プログラムである工学予備教育プログラムの発展も見られる、

一方フランスでは、リセ(高校)で、工学系のグランゼコール進学準備教育のための工学準備教育プログラムが発展しつつある。これに対し日本やドイツでは中等後の職業教育機関と中等段階の職業教育・専門教育と連携したプログラムは、まだ発展していない。

しかし我が国の場合、大学進学者には、高校普通科出身者が多く、専門教育の基礎的な教育を受けていないため、大学入学後、専門教育に不適應を起こす学生も少なからずみられる。

こうした事情から、我が国では、アメリカのテック・プレップや学習プログラム、工学予備教育プログラム、さらにはフランスの工学準備教育などのように中等段

階の職業教育・専門教育と高等段階の専門教育との連携を目指したプログラムの検討が必要であるとの知見を得た。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計18件)

1. 横尾恒隆、富澤健太、上里正男「現代アメリカにおける普通教育としての技術教育教科書の研究(その2)」『設計・技術・工学の探求』のエネルギー変換技術に関する内容を中心に (査読無)、No. 19、2017、200-213頁。

2. Tsunetaka Yokoo、Masao Uesato、Kyoko Uesato、"Historical Development and Perspectives of Technology and Vocational Education in Japan", *Creating Contexts for Learning in Technology Education*, (査読有), 2016, pp.284-289.

3. 横尾恒隆「今日の職業教育をめぐる問題状況と職業教育の公共性」、『教育学研究』(査読有)、第83巻第2号、2016、69-81頁。

4. 佐藤史人「高校職業教育行財政展開について」『職業とキャリアの教育学』(査読有) 第21号、2016、43-64頁。

5. 横尾恒隆、依田有弘「高学歴化の下での高校職業教育の意義と職業教育をめぐる検討課題」『技術教育研究』(査読有)、第74号、2015、1-8頁。

6. 菅原恵彦、横尾恒隆、上里正男「現代アメリカにおける普通教育としての技術教育教科書の研究」、『横浜国立大学教育人間科学部紀要 (教育科学)』(査読無)、No. 17、2015、161-177頁。

7. 上里正男、「書評 3. 三好美織『現代フランスの前期中等物理・化学教育改革に関する研究(溪水社, 2014年)』」、『フランス教育学会紀要』, 第27号(査読有), 2015、91-96頁。

8. 上里正男「フランスにおける普通教育としての技術教育の概念の最新動向」、『技術教育研究』(査読有) No.73, 2014、17-25頁。

9. 堀内達夫、西美江、朴雪梅「職業教育カリキュラムに関する国際比較論」『産業教育学研究』(査読有) 第45巻第2号、

- 1-8 頁。
10. 西 美江「アメリカのコミュニティ・カレッジ バンカー・ヒル・コミュニティ・カレッジ訪問報告」、『関西女子短期大学紀要』(査読無) 第 24 号、2015、41-49 頁
 11. 佐藤史人・門脇弘和・池際博行「最近の大学入試制度に関する研究」、『和歌山大学教育学部紀要・教育科学』(査読無) 第 65 集、2015、85-89 頁。
 12. 上里正男「フランスにおける普通教育としての技術教育の概念の最新動向」、『技術教育研究』(査読有) 第 73 号、2014、17-25 頁。
 13. 西 美江「アメリカにおけるハイスクールとコミュニティ・カレッジの接続 二重単位(dual credit)に焦点をあてて」、『産業教育学研究』(査読有)、第 44 号第 2 巻、2014、19-27 頁。
 14. 佐藤史人「中等教育段階における教員免許状『職業指導』に関する規定」、『和歌山大学教育学部教育実践総合センター紀要』(査読無) No.24、2014、149-152 頁。
 15. 吉留久晴「ドイツにおける初期職業訓練型のデュアル学修課程の現状と課題」、『福祉社会学部論集』(査読無) 第 32 巻第 4 号、27-43 頁。
 16. 西 美江「米国ハイスクールにおける職業教育の再評価」、『技術教育研究』(査読有) No.72、2013、19-27 頁。
 17. 島津敦美・佐藤史人「和歌山県立有田中央高校におけるカリキュラムの特徴に関する研究」、『和歌山大学教育学部『教育実践総合センター紀要』(査読無) No.23、2013、143-149 頁。
 18. 井上真求・佐藤史人「京都市立伏見工業高校における日本版デュアルシステムに関する専門教育としての効果・成果に関する研究」、『和歌山大学教育学部『教育実践総合センター紀要』(査読無) No.23、2013、143-149 頁。

[学会発表](計 10 件)

1. Tsunetaka Yokoo, Masao Uesato, Kyoko Uesato, "Historical Development and Perspectives of Technology and Vocational Education in Japan", 9th Biennial International Conference on Technology Education Research, University of South Australia, (Adelaide, Australia), 2016 年 12 月 1 日~3 日。
2. 伊藤博美・長江美津子・佐藤史人、STUDY ON TRAINING PROGRAMS AND IN-SERVICE TRAININGS OF KINDER-GARTEN-TEACHERS, CHILD-CARERS AND NURSERY TEACHERS, The 12th AASVET International Conference in 2016, National Museum of Natural Science, Taichung, Taiwan, 2016 年 10 月 16 日。
3. 澤間香寿実・本庄麻美子・佐藤史人「大学生の進路選択・決定に向けての職業興味の実態調査研究 - 和歌山大学経済学部においても VPI 職業興味検査の実施結果から -」、『日本産業技術教育学会近畿支部第 33 回大会、大阪教育大学、2016 年 10 月 18 日。
4. 一色秀之・佐藤史人「初等教育におけるプログラミング教育についての目的に関する研究」、『日本産業技術教育学会近畿支部第 33 回大会、大阪教育大学、2016 年 10 月 18 日。
5. 横尾恒隆「アメリカ合衆国における職業教育連邦補助法の成立」、『日本教育学会、御茶ノ水女子大学、2015 年 8 月 28 日~8 月 30 日。
6. 西美江「米国カリフォルニア州におけるキャリア・パスウェイの開発」、『アメリカ教育学会、武庫川女子大学、2015-年 10 月 31 日~10 月 31 日。
6. 吉留久晴「ドイツの高等教育段階における職業教育とその質保障の現状と課題」、『EQGC「高等教育と学位資格枠組み」国別検討会、筑波大学東京キャンパス、2015 年 12 月 6 日。
7. 佐藤史人「大学から見た到達度テストの動向と新教育課程」、『日本商業教育学会兵庫支部、流通科学大学、2015 年 7 月 20 日。
8. Tsunetaka YOKOO, Masao UESATO, Technology Education and Its Future, The 101st meeting of the Mississippi Valley Technology Teacher Education Conference,

The Hilton St. Louis Airport, St. Louis, MO, USA, 2014年11月13日～11月14日。

9. 西美江「アメリカにおけるキャリアパスウェイの開発」、日本産業教育学会第55回大会、大東文化大学、2014年11月13日～11月14日。
10. 佐藤史人「戦後日本の高校職業教育行財政制度の成立」日本教育学会第73回大会、2014年8月23日～8月24日。

〔図書〕(計5件)

1. 田中喜美、横尾恒隆ほか『技術教育の諸相』学文社(2016年) 全267頁。
2. 佐々木先生追悼集編集委員会『人間いたるところに青山あり 技術・職業教育学者佐々木享先生追悼集』大空社(2016年) 全314頁。
3. Tsunetaka YOKOO, Masao UESATO, Joel LEBAUM, Jean Louis MATINAND, Philip CARDON, International Comparative Study on "Preengineering" Education at High School /Higher Secondary Level as a Strategy against "Drifting away from Science and Engineering", Research Report of Grant-in-Aid for Scientific Research (B) (査読無), Japan Society for Promotion of Sciences (21330174)、2014年、全73頁。
4. 横尾恒隆『アメリカにおける公教育としての職業教育の成立』学文社(2013年)、全474頁。
5. 日本産業教育学会編『産業教育・職業教育ハンドブック』大学教育出版(2013年) 全324頁。
6. 堀内達夫、佐々木英一、伊藤一雄、佐藤史人(編著)『日本と世界の職業教育』法律文化社、(2013年) 全179頁、

6. 研究組織

(1)研究代表者

横尾 恒隆 (Tsunetaka YOKOO)
横浜国立大学教育人間科学部・教授
研究者番号：30220544

(2)研究分担者

上里 正男 (Masao UESATO)
山梨大学総合研究部・教授
研究者番号：80193788

西 美江 (Mie NISHI)
関西女子短期大学保育学科・教授
研究者番号：20515895

吉留久晴 (Hisaharu YOSHIDOME)
鹿児島国際大学、福祉社会学部・教授
研究者番号：20387450

佐藤史人 (Humito Satoh)
和歌山大学 教育学部・教授
研究者番号：80324375

